

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年7月22日)

ページ

- 鳥取県過疎地域持続的発展方針の変更(改訂)(案)に係るパブリックコメントの実施について
【中山間・地域振興課】・・・2
- 「全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり」の開催について
【中山間・地域振興課】・・・4
- 「名探偵コナン 鳥取ミステリーツアー」の開始について
【観光戦略課】・・・5
- 国際航空路線に関する最近の動きについて
【国際観光課】・・・6

輝く鳥取創造本部

鳥取県過疎地域持続的発展方針の変更（改訂）（案）に係るパブリックコメントの実施について

令和7年7月22日

中山間・地域振興課

本県では、令和3年4月1日に施行された「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」（以下「過疎法」）に基づいて、「鳥取県過疎地域持続的発展方針」（以下「県方針」）を令和3年8月に策定をしています。

県方針は、県内市町村が過疎対策事業債を起債する際に必要となる過疎地域持続的発展市町村計画（市町村過疎計画）を策定するための上位指針です。

現在の県方針の期間が令和7年度末までとなっており、令和8年度から令和12年度末（過疎法期限）までの5年間に係る指針として、今年度中に県方針を変更（改訂）する必要があります。

ついては、県方針の変更（改訂）案に対する県民の皆さまのご意見を広くお聞きするため、パブリックコメントを実施します。

1 パブリックコメント募集期間

令和7年8月5日（火）から8月28日（木）まで

2 県方針の変更（改訂）（案）の概要

（1）令和8年度から令和12年度の5年間に変更

（2）主な方針の変更点

①過疎地域持続的発展方針を過疎地域持続的発展計画と一体的に策定する。

※鳥取県、滋賀県他4県が行った令和4年度の地方分権改革に関する提案に基づき、令和8年度以降の過疎方針において一体的な策定が可能となった。

②令和6年12月に策定をした「安心して住み続けられる中山間地域創造プラン」に基づき、生活基盤である買物環境の維持・確保、ドライバー確保を明記。

③関係人口創出の観点から二地域居住に関わる「ふるさと住民登録制度」等の活用を明記。

④子育て環境確保について、「シン・子育て王国とっとり」の実現に向けた方針を明記。

⑤新型コロナウイルス感染症の文言について削除。

（3）過疎法第7条第2項に基づき県方針に定める事項（変更点は下線のとおり）

ア 過疎地域の持続的発展に関する基本的な事項

過疎地域の現状と問題点、過疎地域持続的発展の基本的な方向、期間、過疎地域の持続的発展に関する目標、目標の達成状況の評価に関する事項、広域的な経済社会圏の整備計画等との関連

イ 過疎地域の持続的発展のために実施すべき施策に関する事項として次のもの

（ア）移住及び定住、地域間交流の促進、人材育成

関係人口創出の観点から、二地域居住に関わる「ふるさと住民登録制度」を追記

（イ）産業の振興

（ウ）情報化

（エ）交通施設の整備、日常的な移動のための交通手段の確保
生活路線を運行する事業者のドライバー確保を追記

（オ）生活環境の整備

（カ）子育て環境の確保、高齢者等の保健・福祉の向上及び増進
シン・子育て王国とっとり計画に沿った内容へ修正

（キ）医療の確保

（ク）教育の振興

（ケ）集落の整備

買物環境の維持・確保について明記

(コ) 地域文化の振興等

(サ) 脱炭素化の推進

3 今後のスケジュール（案）

- ・ 8月5日 パブリックコメント開始（8月28日まで）
- ・ 9月2日 国への事前協議（過疎法第7条第4項に基づく協議）
- ・ 10月下旬 国同意（＝策定）・公表
- ・ 11月～12月 市町過疎計画について県協議
- ・ 3月中下旬 市町過疎計画について市町議会の議決（過疎法第8条第1項）
※市町過疎計画に基づいて行う事業について、過疎対策事業債を財源とすることができる。

【参考】過疎法に基づき、本県で過疎地域に指定されている地域

鳥取市（旧福部村、旧河原町、旧用瀬町、旧佐治村、旧青谷町）、倉吉市（旧関金町）、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町（旧泊村、旧東郷町）、琴浦町、北栄町（旧大栄町）、大山町、伯耆町（旧溝口町）、日南町、日野町、江府町

「全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり」の開催について

令和7年7月22日

中山間・地域振興課

過疎地域の将来に向けて、更なる議論を深めるとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて過疎地域の未来を考える契機とするため「全国過疎問題シンポジウム2025 in とっとり」を開催します。

※昭和63年より全国持ち回りで開催しており、今回で36回目の開催

1 開催日

令和7年10月30日（木）、31日（金）

2 テーマ

「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと ～自然・人・活力とともに～」

“世代を超えて”は現在住んでいる「①世代間の協働」＋過疎地域が過去から脈々と世代を超えて「②受け継いできた価値」を含意します。

若者、女性、移住者も含めた多世代に渡る人と人、人と地域の強い絆を活かし、そして先人たちが大切にし守り育ててきた古民家や里山の静かな佇まい・風景、過疎地の自然が有する公益的機能など当たり前のようにそこに存在し続けてきた「都市部にはないもの」を地域の貴重な資源に、過疎地域において将来にわたり安心して住み続けられる地域づくりを進めていくとの思いをこめたテーマとしました。

3 主催

総務省、全国過疎問題シンポジウム実行委員会（鳥取県、一般社団法人全国過疎地域連盟、鳥取県地域振興対策協議会）

4 内容

①令和7年10月30日（木）

【全体会（鳥取市：とりぎん文化会館梨花ホール）13時～17時】

- ・開会式（開会宣言、主催者挨拶、歓迎挨拶）
- ・令和7年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式（総務大臣賞、全国過疎地域連盟会長賞）
- ・基調講演
- ・パネルディスカッション「世代を超えて安心して住み続けられるふるさと～自然・人・活力とともに～」
- ・次期開催県紹介・挨拶（福井県）

※この他、会場内で19市町村のPRブース（特産品の物販、観光パンフレット配布、地域づくりの取組紹介等）を設置予定

【交流会（鳥取市：ホテルニューオータニ鳥取）18時～19時30分】

※来場者の満足度を高め、本県の特徴・魅力がアピールできるよう地元鳥取県のお酒や食材をPR予定

②令和7年10月31日（金）

【分科会（各会場：8時～17時頃）】

智頭町、大山町、三朝町・湯梨浜町の3分科会で過疎地域持続的発展優良事例発表会、現地視察を実施

※現地視察は、町主体で内容や行程を決定。なお、三朝町・湯梨浜町の分科会は現地視察のみ。

5 参加者

都道府県議会議員・都道府県職員、過疎地域市町村議会議員・市町村職員、学識者、地域づくり実践者、地域づくり団体、過疎地域住民 ほか

6 参加予定人数

約600名（全体会）※交流会及び分科会は200～300人程度を予定

7 その他

8月中にホームページや各関係機関への案内を通じて広く参加者の募集を開始予定。

「名探偵コナン 鳥取ミステリーツアー」の開始について

令和7年7月22日

観光戦略課

大阪・関西万博の開催に合わせて国内外からの観光誘客を図る「名探偵コナンミステリーツアー」、「DETECTIVE CONAN 鳥取ツアー」（訪日旅行者向け）の開始を記念し、オープニングセレモニー等を開催したので報告します。

1 オープニングセレモニー

日 時：7月1日（火）10:35～11:00

会 場：大阪駅3番のりば

出席者：鳥取県知事（名探偵コナン鳥取ミステリーツアー実行委員会
会長）、智頭急行(株)代表取締役社長、西日本旅客鉄道(株)
マーケティング本部鉄道マーケティング部長、大阪駅長、
江戸川コナン

内 容：主催者挨拶、江戸川コナンのツアー紹介、テープカット、出発合図

※江戸川コナンによるスーパーはくと車内 PR 放送

TV アニメ「名探偵コナン」のメインテーマと共に江戸川コナン（CV:高山みなみ）が鳥取ミステリーツアーの紹介を行う音声を7月1日（火）から令和8年1月21日（水）まで放送。

鳥取行きの列車の智頭駅発車後に放送し、倉吉行きについては鳥取駅発車後にも放送する。



2 コナン駅（由良駅）でのお出迎えイベント

日 時：7月5日（土）11:10～11:30

※コナンラッピング列車の由良駅到着に合わせて実施

会 場：コナン駅（由良駅）

内 容：由良駅で降車したツアー参加者等へノベルティグッズを配布



3 大阪駅での情報発信・観光誘客イベント

日 時：7月13日（日）10:00～16:00

会 場：大阪ステーションシティ2階アトリウム広場（JR大阪駅）

内 容：ミステリーツアーの紹介、旅行相談受付、ガラポン抽選会、
コナングッズの物販、江戸川コナンのグリーティング、
パンフレット配布



4 今後の予定

（1）山陰観光誘客イベント

日 時：8月9日（土）、8月10日（日）

会 場：大阪ステーションシティ2階アトリウム広場（JR大阪駅）

内 容：名探偵コナン鳥取ミステリーツアーの紹介、山陰観光連盟の冬季キャンペーン告知、鳥取県・島根県の観光情報案内、山陰観光地の人気投票及び抽選会、トリピー・しまねっこのグリーティング等を実施する予定。

（2）海外インフルエンサーの県内招致（7～8月）

香港、台湾、韓国のインフルエンサーを招へいし、「DETECTIVE CONAN 鳥取ツアー」の立ち寄りスポットや県内観光地を巡る県内取材ツアーを実施し、情報発信を強化する予定。

（3）海外メディアと連携した情報発信（7月下旬）

「地球の歩き方」の海外版ウェブサイト「Good Luck Trip」等に「DETECTIVE CONAN 鳥取ツアー」の情報を掲載する。

国際航空路線に関する最近の動きについて

令和7年7月22日
国際観光課

米子鬼太郎空港を発着する国際航空路線を巡る動きについて、次のとおり報告します。

1 【香港】米子香港便の運休

7月2日、米子香港便の運航会社であるグレーターベイ航空・伊藤弘輝（いとう ひろき）日本支社長と平井知事がオンラインで面談し、今年の夏、日本で大災害が起きるといふ「災害予言」が香港で拡散している影響等で需要が低下し、米子鬼太郎空港と香港国際空港を結ぶ米子香港便を9月1日から一旦運休することが伝えられました。

香港市場は本県において誘客数が上位に位置する大変重要な市場であり、引き続き香港でのプロモーションに注力し、早期の路線復活を目指していきます。

【米子香港便の概要】

- ・運航曜日 日・火・木（週3便）
- ・使用機材 B737-800（186又は189人乗）
- ・運航時間 （火・木）香港（10:55）→米子（15:20） 米子（16:20）→香港（19:30）
（日） 香港（11:35）→米子（16:20） 米子（17:20）→香港（20:25）
- ・直近の搭乗率 R7. 4月 58.7%、5月 43.3%、6月 40.3%

2 【韓国】地元メディアによるアウトバウンド取材ツアーの実施

米子ソウル便のアウトバウンド利用促進を図ることを目的に、地元のメディアを対象としたアウトバウンド取材ツアーを実施しました。

米子発の時間が早まった木曜便（12時米子発、13時30分仁川着）を活用した1泊2日、3泊4日の2パターンのモデルコースを発信し、夏休みシーズンの利用の取り込みを図ります。

（参考）6月の米子ソウル便の平均搭乗率 79.5%

韓国人搭乗者数 5,164人（75.2%）、日本人搭乗者数 1,581人（23.0%）

- （1）実施期間 7月3日（木）～6日（日）（4日間）
- （2）参加者 新聞社1社、テレビ局1社、webマガジン社6社 計8社14名
- （3）主な取材先 ソウル・明洞（ミョンドン）－メイク・エステ体験、グルメ、ショッピング
梨泰院（イテウォン）－グルメ
汝矣島（ヨイド）－グルメ、ショッピング、夜景観賞
西村（ソチョン）－市場視察・体験
江原道・江陵（カンヌン）－グルメ、K-POPアイドルロケ地巡遊

【参加者の主なコメント】

- ・木曜便を活用することで韓国での滞在時間が増え、より韓国を満喫できると感じた。
- ・3泊4日の行程だと時間の余裕があるため、ソウルだけでなく地方にも足を延ばすことができ、韓国を楽しむ幅が広がる。
- ・韓国の地下鉄は値段が安く、日本語表記もあるので、移動手段としてとても便利なのことが分かった。



ソウル市内の取材の様子

3 【台湾】米子台北便の運航状況と利用促進対策

米子台北便の6月の平均搭乗率は70.5%で、インバウンドは個人の利用客が比較的多くを占め、月後半からは地元旅行社の商品が本格的に催行され始め、アウトバウンド客の利用も増え始めています。引き続きインバウンド、アウトバウンド双方のプロモーションを実施し、利用促進につなげていきます。

（参考）外国人搭乗者数 1,939人（85.4%）、日本人搭乗者数 332人（14.6%）

【当面の主なインバウンド誘客対策】

- ・航空会社と連携した夏休み向けプロモーションの実施（HP、SNSによる情報発信）（7月～8月）
- ・旅行会社と連携し、秋の紅葉に向けた旅行商品造成（8月）※夏向け商品はすでに販売中
- ・インフルエンサーによるFAMツアーの実施（7月～継続的に実施）

【当面の主なアウトバウンド利用促進策】

- ・地元メディア（新聞・テレビ・ラジオ）と連携した情報発信（7月～8月）
- ・地元情報WEBサイトでの夏休み特集記事掲載（7月）
- ・地元旅行会社と連携した夏～秋向け商品の情報発信（7月）
- ・鳥取台湾ファンクラブ会員向け台湾特集の発信（7月）

※なおインバウンド誘客対策の一環として、7月9日には中国地方の官民103団体で組織する「中国地域観光推進協議会」が主催する高雄での観光情報説明会・商談会・交流会に参加し、台湾旅行業者に対して本県観光素材のPRを行い、台湾での知名度向上を図りました。



商談会の様子